

秋穂 図書館 だより 2025年3月号

3月カレンダー

日	月	火	水	木	金	土	休館日
						1	
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30	31						



発行：山口市立秋穂図書館

TEL：083-984-0065 HP：<http://www.lib-yama.jp>

FAX：083-984-0066 メール：aio@lib-yama.jp

今月の行事

- 1日（土）おとなのためのおはなし会
10：00～（秋穂図書館）
- 6日（木）よちよちだっこのおはなし会
10：00～（秋穂図書館）
- 11日（火）ブックスタート
10：30～（秋穂図書館）

今月の企画展示

一般：春が来た！新しいことを始めよう！

児童：卒園、卒業、そして 新学年！



雑誌が一部変更になりました

休刊・廃刊等に伴い、雑誌の見直しを行いました。今回入れ替える予定の雑誌はの次とおりです。

「関西 中国・四国じゃらん」(休刊)

⇒「ひととき」
(月刊誌・5月号より購入予定)

雑誌は一人5冊まで貸出ができます。なお、最新刊は貸出ができません。次号が出るまで館内閲覧のみとなります。バックナンバーの予約ができます。お気軽にカウンターにお声かけください。

時代小説を一部移動しました

今まで小説の書架に入っていた時代小説を、一部窓際のブックトラックや回転書架へ移動しました。

見つからないときは、お気軽にカウンターにお声かけください。



一口メモ 芥川賞・直木賞とは？

第172回芥川賞・直木賞が、1月に発表されたのは記憶に新しいところです。両賞共に歴史は古く、1935年に文藝春秋社社長の菊池寛が、友人の直木三十五を記念して直木賞を、芥川龍之介の業績を記念して芥川賞を創設し、以降年2回発表されています。

芥川賞は新人作家による発表済みの短編・中編作品が対象で、受賞作は雑誌『文藝春秋』に掲載されます。一方直木賞は大衆性を押さえた長編小説作品あるいは短編集に与えられる文学賞で、かつては無名・新人作家に対する賞であったようですが、現在では選考基準に中堅作家という一項が加えられました。

今回は芥川賞に安堂ホセ著『Dトピア（デートピア）』、鈴木結生著『ゲートはすべてを言った』、直木賞に伊与原新著『藍を継ぐ海』が選ばれました。



お知らせ『こどもワイワイとしゃかん』

今年も「こどもワイワイとしゃかん」を4月26日（土）に開催します。

会場は秋穂地域交流センター大会議室と芝生広場を予定しています。

詳細は決まり次第お知らせします。





新刊案内



※他にもたくさん出ています

【一般向け】

- 「すべてを蒸したせろレシピ」 りよ子
- 「大人の流儀 12 またどこかで」 伊集院 静
- 「茶の湯武者小路千家 炉中に広がる世界」 千 宗守
- 「藤子・F・不二雄がいた風景」 藤子・F・不二雄
- 「はたらく細胞公式レシピBOOK」 伊藤 明子・監修
- 「大河ドラマべらぼう 蔦重栄華乃夢噺」 NHK出版
- 「憤怒 上・下」 パトリシア・コーンウェル

【ティーンズ向け・マンガ】

- 「明日、君が死ぬことを僕だけが知っていた」 加賀美 真也
- 「探偵はもう、死んでいる 12」 二語十
- 「今日も誰かの誕生日」 二宮 敦人

【児童（こども）向け】

- 「おだんごとんリベンジ」 がタロー☆マン
- 「かいけつゾロリ いただき！！ なぞのどデカダイヤモンド」 原 ゆたか
- 「つたやじゅうさぶろう 蔦屋重三郎」 ちさか あや・まんが
- 「シートベルト・ムギュー」 いしあい つるえ
- 「10歳さいからの確率かくりつやってみた！」 横山 明日希
- 「おとな 大人も知らない？ にほんぶんか 日本文化の じてん なぞ事典」 日本文化の にほんぶんか なぞ けんきゅうかい 研究会
- 「ノラネコぐんだんおりがみパンやさん」 いしばし なおこ



移動図書館「ぶっくん」



3月12日（水）、26日（水）に
秋穂地区にやってきます。時間は以下の
通りです。40分間停車しています。
ぶっくんで借りた本は大海小学校の返却
ポスト、秋穂図書館でも返却できます。
ぜひお立ち寄りください。

10：55～11：35 秋楽園
13：10～13：50 大海小学校

